

北海道小樽未来創造高等学校
教頭 廣川雅之

一 本校の概要

本校は、平成三十年に北海道小樽工業高等学校と北海道小樽商業高等学校の統合によって、全道初の単位制専門高校として開校しました。

全日制は、小樽工業高校に入学した工業科三学科（電子機械科、電気科、建設科）と小樽未来創造高校の第一期生として入学した工業科二学科（機械電気システム科、建設システム科）と商業科二学科（流通マネジメント科、情報会計マネジメント科）の四学科の十字級であり、定時制は、電気・建築科の四学級です。

これまでの両校の特色ある教育活動や伝統を引継ぎながら、新たなスタートを切りました。



開 校 式 典

二 生徒の活動状況

生徒は、校訓「自立 敬愛 創造」のもと、学習活動や様々な教育活動に励んでおります。

一年次の総合的な学習の時

間は「小樽学」として、地域の歴史・文化、食や観光、外国語によるコミュニケーションや国際理解、ものづくりなど体験的活動をとおして、基礎的な知識を身に付けるとともに、地域独自の経済と文化を幅広く学び、地域の理解を深めています。

地域の方々の協力を得て、講演会をはじめ、おたる潮まつりの潮ねりこみの踊りや「小樽あんかけ焼きそば」の調理実習などを実施したり、これまで学習した内容を活かして、市内の大学生と一緒に、小樽駅前の再開発について交流を行い、小樽の未来のまちづくりについて、自分たちの考えたアイデアをプレゼンテーションするなど、思考力や表現力を身に付ける取組を行っています。

専門教育においては、工業科の課題研究では授業で身に付けた技術や知識を活かして地域に貢献するという取組を行っているっており、小樽市内の幼稚園の遊具のさび取りや塗装などを行ったり、市内の小学校の工作椅子の修繕を行っています。また、学習の成果を資格取得にもつなげ、各種検定や国家資格の取得を目指し、危険物取扱者や電気工事士などの資格を取得しています。商業科も校内だけの学習にとどまらず、地域に出て体験的な学習を多く取り入れています。市内のイベント等に参

加するだけではなく、関係団体とタイアップして、今後、企画の提案を行ったり、一緒に運営できるように連携を進めています。

三 本校のPTA活動

本校のPTAは、会長、副会長をはじめとした役員その他、各クラスから選出された委員が、教学進路部、文化保健体育部、生徒指導部の3部に所属し、事業計画に沿って各種の活動を行っています。

学校の様子や各部の取組を会員に理解していただくため、3部から編集委員を選出し、年2回PTAだよりを発行しており、学校祭においては、会員の皆様の協力を得てPTA主催のバザーを実施し、毎年好評を得ています。



全日制PTA総会

また、全定ともにPTA会長をはじめ、会員の研鑽として、高P連全道大会や支部総会及び支部の事業などに出席し、管内のPTA役員の方々ととの交流や情報交換を行いながら、より良いPTA活動の在り方について研修を重ね、子どもたちの健全育成のために積極的に取り組んでいます。